

Translated Children's Books Forum

第④回 JBBY

子どもの本の翻訳フォーラム

子どもの本・日本と世界 — 視野の違いを探索

2022年

1月22日(土)午後3時~5時半

【場所】オンライン

*視聴者は画面には映りませんが、助成元(子どもゆめ基金)への報告ならびに主催者広報等に使用するため録画することを、予めご了承ください。

【パネリスト】

宇野和美(スペイン語翻訳家)、こだまともこ(英語翻訳家)

佐藤まどか(児童文学作家)、那須田淳(児童文学作家)

【コーディネーター】さくまゆみこ(英語翻訳家)

【対象】大人(高校生以上可) 【定員】120人(申込順・裏面参照)

【参加費】1000円

第一線で活躍する翻訳家と、海外在住の児童文学作家を招き、日本の児童文学と外国の児童文学の社会的関心の違い、子どもをめぐる社会や子ども観の違いなどを浮き彫りにしていきたいと考えます。子どもにとって多様な文学が必要な理由とは。



宇野和美



こだまともこ



さくまゆみこ



佐藤まどか



那須田 淳



『おとなってこまっちゃう』
ハビエル・マルピカ 作/宇野和美 訳/山本美希 絵/偕成社/2022年

宇野和美 (うの・かずみ)

(スペイン語翻訳家)

出版社勤務を経て翻訳に携わる。「どんな作品が国境を越えられるのか」を、デビュー以来ずっと考え続けている。おもしろい作品を求めて、スペイン語圏のブックフェアや書店にもよく足を運ぶ。訳書に『見知らぬ友』(福音館書店)、『ペラスケスの十字の謎』(徳間書店)、『しあわせなときの地図』(ほるぶ出版)、『アルマの名前がながいわけ』(ゴ布林書房)、『民主主義は誰のもの?』(あかね書房)など。スペイン語の子どもの本専門のネット書店ミランフ洋書店を営み、西日暮里BOOKAPARTMENTに出店している。JBBY会員。



『クレンショーがあらわれて』
キャサリン・アップルゲイト 作/こだまともこ 訳/まめぶく 絵/フレーベル館/2019年

こだまともこ

(英語翻訳家)

児童文学、YAの翻訳者。訳書に「メニュー一家の物語」シリーズ(講談社)、『テディが宝石を見つけるまで』、『ぼくはおじいちゃんと戦争した』(あすなる書房)、『ぼくが消えないうちに』(ポプラ社)、『レモネードを作ろう』、『このねこ、うちのねこ!』(徳間書店)、『きみのいた森で』(評論社)、『クレンショーがあらわれて』(フレーベル館)、『きみなんかだいきらいさ』(富山房)など多数。2008年からジョーン・エイキンの「ガイドーの冒険」シリーズ全11巻(富山房)の翻訳にとりくみ、『ガイドーと父ちゃん』で2010年IBBYオーナーリストに選ばれる。JBBY会員。



『アドリブ』
佐藤まどか 著/しまぎさジョゼ 装画/あすなる書房/2019年

佐藤まどか (さとう・まどか)

(児童文学作家)

1987年に奨学金を取得しイタリアに渡る。製品や内装の意匠設計、専門誌ライターをしながら生計を立てる。2006年『水色の足ひれ』(ニッサン童話と絵本のグランプリ童話大賞/BL出版)でデビュー。二足の草鞋の緒が切れた(大病)のちは執筆活動に集中。作品に『セイギのミカタ』(フレーベル館)、『スーパーキッズ』(うつのみや子ども賞)(講談社)、『つくられた心』(ポプラ社)、『アドリブ』(第60回日本児童文学者協会賞・第6回児童ペン賞少年小説賞/あすなる書房)、『月にトンジル』(あかね書房)など。訳書数冊。トスカーナ州在住。JBBY会員。



『ペーターという名のオオカミ』
那須田淳 作/ミヒヤエル・ゾーヴァ 装画/小峰書店/2003年

那須田 淳 (なすだ・じゅん)

(児童文学作家)

大学在学中にシナリオを学び、小説を書き始める。卒業後、イギリスとドイツに一年滞在し、88年に『三毛猫のしっぽに黄色いバジマ』(ポプラ社)でデビュー。95年からドイツのベルリン市に在住。『ペーターという名のオオカミ』(小峰書店)で、産経児童出版文化賞、坪田譲治文学賞を受賞。ほかに『一億百万光年先に住むウサギ』(理論社)、『星空ロック』(あすなる書房・ポプラ文庫ビューアフル)など多数。翻訳も『ちいさなちいさな王様』(講談社)や『黄色い星』(BL出版)など数多く手がける。和光大学、共立女子短期大学非常勤講師。鬼ヶ島通信編集長。JBBY会員。



『わたしは夢を見つづける』
ジャクリン・ウッドソン 作/さくまゆみこ 訳/MARUU 絵/小学館/2021年

さくまゆみこ

(英語翻訳家)

翻訳家、編集者、JBBY会長、アフリカ子どもの本プロジェクト代表。著書に『エンザロ村のかまど』(福音館書店)、『どうしてアフリカ? どうして図書館?』(あかね書房)など。訳書は、2020年国際アンデルセン賞を受賞したジャクリン・ウッドソンの『わたしは夢を見つづける』(小学館)や『ひとりひとりのやさしさ』(BL出版)のほか、『みずをくむプリンセス』(さ・え・ら書房)、『シャーロットのおくりもの』、『おとうさんのちず』(あすなる書房)、『この計画はひみつです』(鈴木出版)、『明日をさがす旅』(福音館書店)など多数。

お 申 し 込 み

外部サイト「Peatix」からお申し込みください。
クレジットカード決済と振り込みをお選びいただけます。
<https://jbbyonline021.peatix.com>
*当日は、Peatixにログインして視聴ページよりご覧ください。



JBBYのおすすめブックガイド

JBBYでは、毎年、日本で出版された優れた翻訳児童書を紹介するブックガイド「おすすめ!世界の子どもの本」と、日本人作家による創作児童書を紹介する姉妹版「おすすめ!日本の子どもの本」を発行しています。入手ご希望の方は、下記JBBY事務局までお問い合わせください。



JBBY

日本国際児童図書評議会 (JBBY)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32

Tel: 03-6273-7703 Email: info@jbby.org

JBBYとは—

日本国際児童図書評議会の略称。IBBYの日本支部として1974年に創設されました。会員(現在、個人約400人、法人約70社)の支援と協力に支えられ、「子ども・本・平和」をキーワードに、子どもの本に関する国際協力機関として国内外で活動を行っています。「国際アンデルセン賞」をはじめとする子どもの本の国際的な賞に日本の作品や作家を推薦したり、英文のブックリストを発行したりして、日本の子どもの本に関する情報を海外へ発信しています。国内では、「世界の子どもの本展」や「バリアフリー児童図書展」の巡回、講座や講演会の開催、ブックリストの発行などを通じて世界の優れた児童書を日本の出版関係者や読者に紹介しています。

<https://jbby.org/>
facebook.com/JBBYpi/ twitter.com/JBBYpi
instagram.com/jbby_kodomonohon

